

笑顔で学ぶ

久留米市教育委員会発行
No. 1 (平成 23 年 7 月)

くるめっ子通信

第 2 期教育改革プランを策定
学生ボランティアを派遣
ソーシャルワーカー 2 名配置
子育て 4 つのツボ



“九九”の答えを探してみよう ~ 中学生ティーチャーが活躍 ~

南小学校と牟田山中学校では平成 21 年度から 3 年間、久留米市教育委員会研究指定を受け、「中 1 ギャップの解消をめざす小中連携教育」をテーマに研究を進めています。

この写真は研究の取組として、平成 22 年 12 月に中学 2 年生が小学校へ出向き、小学 2 年生にかけ算九九を教えている「九九の会」の様子です。この活動をとおして、中学生は先輩としての「頼られ感」、小学生は中学生への「あこがれ感」が生まれています。

両校ではこの他にも、小学校と中学校の先生によるチームティーチングや授業交流等の活動をとおして、小中学校間のスムーズな接続を図る取組を推進しています。



第 2 期久留米市教育改革プランを策定

久留米市では、平成 22 年度までの第 1 期教育改革プランの取り組みと、学校教育の現状と課題を踏まえ、学校教育の充実を図ることを目指した「第 2 期久留米市教育改革プラン」を策定しました。

この「笑顔で学ぶくるめっ子通信」は、この教育改革の取り組みについて保護者の方々を含め多くの市民の方に知っていただくために、年 4 回程度発行する予定としています。

なお、改革プラン本文は市ホームページでご覧いただけます。

(市ホームページ <http://www.city.kurume.fukuoka.jp/>)

第2期久留米市教育改革プランを紹介します！

久留米の教育目標

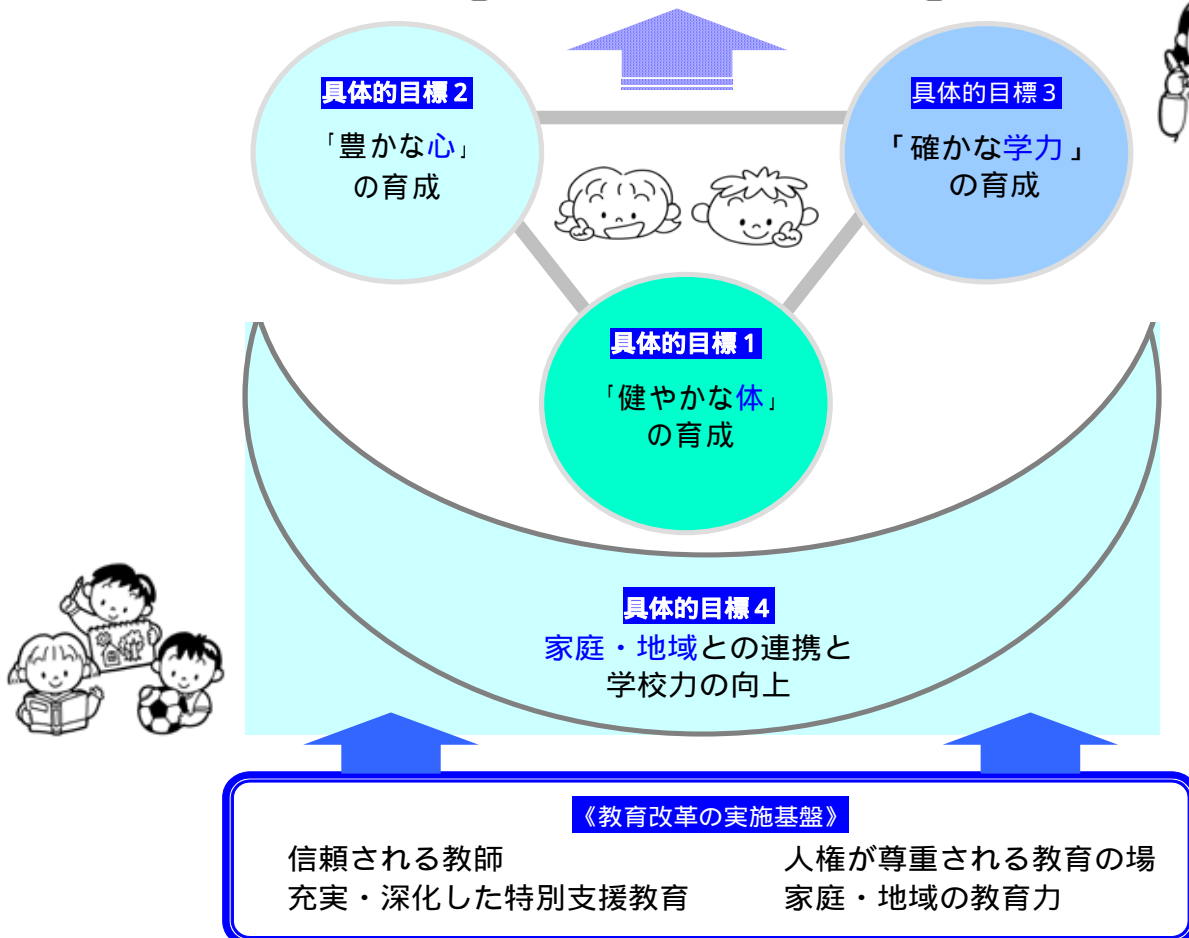
未来を担う人間力を身につけた子どもの育成

「人間力」とは、「生きる力（自ら学び、自ら考える力など）」をさらに発展させ、具体化したものとして、「自立した一人の人間として力強く生きていくとともに、社会の一員として役割を果たすことができる総合的な力」と位置づけます。

教育改革の目標

「笑顔で学ぶくるめっ子」に向かって

子どもたちが「学力」をはじめとした「人間力」の習得を通じて、「学びあう仲間」や、知らないことを知り、できなかったことができるようになるという「学びの喜び」、そして、それを活かした「自尊感情」を高めることを目指して、子どもが「笑顔」で学んでいけるよう、家庭・地域と学校が連携して教育改革に取り組んでいきます。



具体的目標 1 「健やかな体」の育成

食事・睡眠等の基本的な生活習慣の確立や、子どもたちの笑顔の基盤となる身体的健康を育みます。また、障害のある子どもなどへの必要な支援体制を構築します。

具体的目標 3 「確かな学力」の育成

基礎的な知識・技能の習得や、これを活用した思考力・判断力・表現力等を育みます。

また、障害のある子どもの自立や社会参加を目指す特別支援教育の充実・深化を図ります。

具体的目標 2 「豊かな心」の育成

自分の存在を肯定し大切に思える心や、他者と共感・協調していく心を育みます。

特に、安心して学べる雰囲気作りや、不登校やいじめ、非行等への対策に取り組めます。

具体的目標 4 家庭・地域との連携と学校力の向上

教師の実践的指導力の育成・向上への取り組みとともに、家庭・地域・学校が連携・協働し、一体的に子どもたちの教育の充実を進めるための環境づくりに努めます。

第2期久留米市教育改革プランでこんなことをやります！

久留米市の大学生が集合！

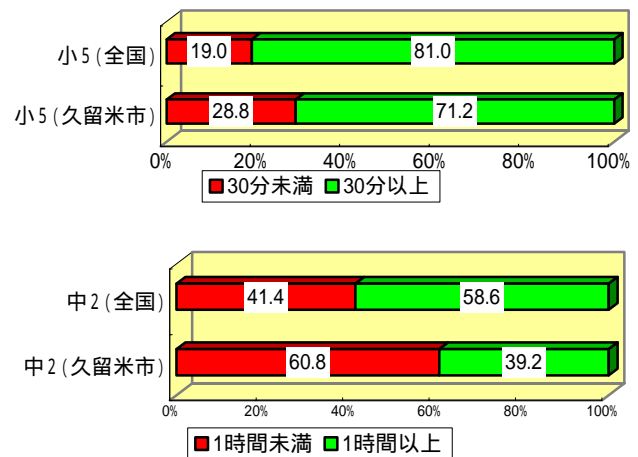
大学生ボランティアが市内小・中学生の学びのお手伝い

平成22年度に行いました久留米市学習状況実態調査によりますと、久留米市の児童生徒は、授業以外で自分で勉強する時間が全国と比べて少ないことがわかりました。

そこで、久留米市教育委員会では、平成23年度から小・中学生の自学自習の習慣を定着させるために、放課後や夏休みに学生ボランティアの皆さんにお手伝いいただき、授業で学んだことを復習したり宿題に取り組んだりする補充学習を行う学習支援事業を実施しています。



授業以外に1日にどれくらい勉強しますか(H22)



本事業の実施にともないボランティア学生を募集したところ、69名の学生さんからの申込みがありました。

去る5月24日にくるめりあ六ツ門で事業説明会を行い、市内19の小中学校に学生ボランティアを派遣しています。お兄さんお姉さんと一緒に勉強することで、子どもたちの自学自習の習慣化を図り、学ぶ楽しさに触れることで、学力の向上を目指します。

通称 S S W

スクールソーシャルワーカー2名を配置！



抱えている問題と一緒に向き合いたいと思います。お気軽に相談ください。

スクールソーシャルワーカーとは？

家庭や学校問題、不登校の改善に向け、子どもや保護者とかかわり、取り巻く環境への働きかけや関係機関とのネットワークづくりなど福祉の立場から支援します。

SSWにインタビュー

Q どんなことをするの？

A 相談者の悩みを聞き、どんなことを思い、何をしたいのかなどニーズを探ります。また、保護者とも話をし、必要に応じて医療・相談機関へとつなぎます。

Q 実際の支援は？

A 支援計画を作成し、それに基づいて社会的スキルを身に付ける方法を学校へ助言します。

Q 利用するには？

A 在籍の学校を通じて申込みとなります。まずは学校へご相談ください。

子育て 4つのツボ

楽しい夏休み
に向かって

皆さんもご存じの通り、子どもを育てるには「家庭と地域と学校」と多くの人の支えが必要です。今回は、子育てをする上で、保護者の皆様をお願いしたいことを「子育て4つのツボ」と題してまとめました。ぜひ、今日から取り組んでみて下さい。きっと1年後には子どもたちの姿が変わると思います。子どもの笑顔のためによろしくをお願いします。

その1



～早寝・早起き・朝ごはん～

規則的な食事や早寝早起きなど、基本的な生活習慣を、家庭生活の中で身につけさせましょう。

その2

～家族一緒に外遊び～

一緒に、外で遊んだり、スポーツをしたりして、体を動かすことの楽しさを感じさせましょう。



その3



～ルールとマナーを大切に～

礼儀やマナー、言葉づかいなどを家庭で身につけさせましょう。まずは、親が手本になってみましょう。

その4

～学びの習慣づくり～

家庭学習は、学力を定着させるためにも大切です。毎日定期的に、家で勉強する習慣を身につけましょう。

